

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：都市計画課

担当課長名：脇谷 浩一

事業名	街路事業 都市計画道路 住吉万代園瀬橋線 すみよしばんだいそのせ ばしせん		事業区分	街路	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県 徳島市 福島1丁目 とくしま とくしま ふくしま ちようめ 至：徳島県 徳島市 昭和町4丁目 とくしま とくしま しょうわ ちようめ				延長	1.04km
事業概要 当路線は、徳島外環状道路を補完する徳島内環状道路の東部に位置し、地域の連携強化を図るとともに、徳島市内の慢性的な渋滞を解消し、円滑な交通を創出、地域振興、防災対策に寄与する重要な社会基盤である。本事業は、県道徳島環状線から県道徳島小松島線までの4車線道路の整備を行うものである。						
平成12年度事業化		昭和48年度都市計画決定 (平成12年度変更)		平成14年度用地着手		平成14年度工事着工
全体事業費	140億円	事業進捗率	58.1%	供用済延長	(暫定0.5km)	
計画交通量	15,200 ～ 18,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 44.7/187.7億円 事業費:44.4/187.2億円 維持管理費:0.3/0.4億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 従来3便益:81.9/223.5億円 其他便益:70.9/198.6億円 11.0/24.9億円	基準年 令和6年度		
感度分析の結果	【事業全体】 交通量: B/C=0.95～1.16 (交通量±10%) 事業費: B/C=1.03～1.08 (事業費±10%) 事業期間: B/C=1.04～1.08 (事業期間±1年)			【残事業】 交通量: B/C=1.43～1.74 (交通量±10%) 事業費: B/C=1.44～1.77 (事業費±10%) 事業期間: B/C=1.51～1.66 (事業期間±1年)		
事業の効果等 ■円滑なモビリティの確保：一般国道11号等の徳島市及び周辺地域の渋滞緩和。 ■国土・地域ネットワークの構築：県道徳島環状線と一体的な整備を行うことで交通流の適正な分散機能を提供。 ■災害への備え：徳島地域防災計画で指定された緊急輸送道路の補完。 ■安全で安心できる暮らしの確保：自転車、歩行者の安全性の向上。						
関係する地方公共団体等の意見 ■放射環状道路として、早期整備が望まれている。						
前回再評価時より今回再評価実施までの周辺環境変化等 ■平成29年4月：商業施設が outlet ■平成31年3月：「徳島東環状線(末広住吉工区)」の安宅交差点からの上りランプを含む北行き約0.94kmが供用。 ■令和3年3月：「徳島南部自動車道 徳島沖洲IC-徳島津田IC」の約2.4kmが供用。 ■令和4年3月：「徳島南部自動車道 徳島JCT-徳島沖洲IC」の約4.7kmが供用。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 ■平成12年度 事業化、用地進捗率は令和5年度末で79.9% (面積ベース) ■平成26年度 万代工区の一部 (約170m) が暫定供用 ■令和元年度 福島工区の一部 (約120m) が暫定供用 ■令和2年度 万代工区に残る区間 (約170m) を整備し、全区間 (約340m) が暫定供用						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ■徳島東環状線等の他事業との調整が必要な状況ではあるが、短期的な投資効果が得られるよう、計画的な用地取得に努めている。今後、福島工区の臨港道路から(都)元町沖洲線までの区間の早期の暫定供用を目指す。						
施工の構造や工法の変更等 ■プレキャスト製品を積極的に活用し、コスト縮減や工期短縮を図る。						
対応方針	事業継続					
対応方針の決定理由	■以上の事業の効果、進捗状況等を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。					
事業概要図 						

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。